

日本で留学の経験

グラウセツラ・パウラ

信じられませんが、もうこの留学は終わりです 1 年前、勉強のために日本に行くことを考えたら、難しいことのように思えました。日本に来たはじめの頃、あまり日本語が話せないし、一人で世界の反対側にいるし、「私は頭が可笑しい」と思いました。わくわくしていたのに、怖かったです。

10 月から今まで、この留学の経験は、全て素晴らしかったです。日本でたくさんの人々に出会い、新しい経験をしたり、日本語と日本文化について習ったりしました。



最初の学期の間、すべてが新鮮でした。日本語が全然わからないことに恐れていたのですが、日本に行くのは大間違いだと思いました。私はまだ準備ができていない感じがしました。しかし、ロンドンの大学から知っているアナスタシアは、私を助けてくれました。なので、私は一人ではありませんでした。徐々に、他の交換留学生と友達になり、お茶大バレーボール部に入り、週に一度、スペイン語カフェでスペイン語を教え始めました。



一番よかったことは自転車を買ったことです。自転車でどこへでも自由に行くことができました。大山寮から自転車で毎日、大学に行きました。それから、週末は遠くに出かけて、自転車で新しい東京のエリアを探索するのが好きでとても幸せな時間でした。



時間があるときは旅行へ行きました。前期は京都の友達を訪ねました。クリスマスの休みには、スペインの友達が日本に来て、1 週間一緒に過ごしました。

最初の学期が終わった時、私は春休みを最大限に活用しようと思いました。家族も日本に来ました。一緒に北海道に行き、札幌雪祭りを見ました。その他には仙台、京都、大阪も行きました。フィリピンにも旅行しました。3 月の非常事態宣言の前には兵庫県、香川



県、徳島県へ友達の2人と車で旅行をしました。とても楽しかったです。私が最後に行った旅行は、イタリア人の友達2人と行った箱根への旅行です。短い時間でしたが、3人で旅行ができて嬉しかったです。忘れられない旅行と一緒に行ってもらいありがとうございました。



緊急事態宣言の間、外出することはめったにありませんでしたが、寮で友達と一緒に時間を過ごしていました。私たちは一緒に料理したり、食事をしたり、ダンスをしたり、食事をしたり、映画を見たり、食事をしたりしました。ロサとエロイザのおかげで、楽しい時間になりました。

2学期はスペインに戻ることにしました。私の母国で勉強を続けさせてくれた教授に感謝します。それは本当に難しい決断でしたが、多くの理由で、その時はそれが最善のできることと思いました。この学期は時差、授業の難易度、睡眠不足などもありとても大変な時間を過ごしました。教授方の理解に感謝します。

私の日本での経験したことはとても面白かったです。しかし、まだまだやりたいことがたくさんあるので、きっとまた日本に戻ってくると思います。

